

WOWOW 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	58,459	4.3	8,858	24.5	8,728	17.7	6,048	22.1
28年3月期第3四半期	56,041	4.4	7,116	△14.1	7,419	△15.3	4,955	△12.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 6,453百万円 (36.9%) 28年3月期第3四半期 4,712百万円 (△21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	224.08	—
28年3月期第3四半期	183.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	77,406	49,210	63.6
28年3月期	63,452	44,646	70.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 49,210百万円 28年3月期 44,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 28年3月期期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 開局25周年記念配当10円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,800	2.0	9,000	△0.9	9,300	△2.3	6,400	△4.6	237.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示、(3) 追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	28,844,400 株	28年3月期	28,844,400 株
29年3月期3Q	1,853,130 株	28年3月期	1,853,130 株
29年3月期3Q	26,991,270 株	28年3月期3Q	26,991,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成29年1月31日(火)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
(2) 四半期個別業績情報(参考)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き穏やかな回復基調で推移しましたが、不安定な海外経済の動向等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の増加に伴う有料放送収入の増加や、EC（電子商取引）ショップ等でのグッズ販売の増加等により、売上高は584億59百万円と前年同期に比べ24億17百万円（4.3%）の増収となりました。一方で、効果的・効率的な費用投下等により番組費及び広告宣伝費等が減少したこと等により、売上原価と販売費及び一般管理費の合計が496億1百万円と前年同期に比べ6億75百万円（1.4%）の増加に留まったため、営業利益は88億58百万円と前年同期に比べ17億41百万円（24.5%）の増益となりました。経常利益は為替差損計上により87億28百万円と前年同期に比べ13億9百万円（17.7%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億48百万円と前年同期に比べ10億93百万円（22.1%）の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第3四半期連結累計期間におきましては、WOWOW開局25周年記念として大型番組を投入するとともに、WOWOWブランド強化に向けた編成・コンテンツ戦略の強化に取り組むことで、新規加入獲得や解約抑止に努めました。

映画では、「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」のTV初登場を始めとする「スター・ウォーズ」シリーズ全7作品の日本初一挙放送が好評を得ました。

スポーツでは、4年に一度のサッカーの祭典「UEFA EURO 2016™ サッカー欧州選手権」や、「全仏オープンテニス」、「ウィンブルドンテニス」、「全米オープンテニス」等のテニスや、音楽では、ライブ活動の無期限休止を発表した氷室京介のラストライブ等ビッグアーティストのライブが、新規加入を牽引しました。

オリジナルドラマでは、日本を代表する作家・山崎豊子の最高傑作をWOWOWでは過去最長となる全20話で描いた「連続ドラマW 沈まぬ太陽」が好評を得ました。同番組は、「東京ドラマアワード2016」における作品賞で、連続ドラマ部門の優秀賞を受賞しました。

映画製作では、WOWOW FILMS「秘密 THE TOP SECRET」、「ミュージアム」等を公開しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は545億93百万円と前年同期に比べ4億93百万円（0.9%）の増収、セグメント利益は89億3百万円と前年同期に比べ19億53百万円（28.1%）の増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約（注）は、当第3四半期末時点において422,675件（前年同期末に比べ1,067件の増加）となっております。

（注）当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円（税込み）の視聴料金を972円（税込み）に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	439,475 (△6.3%)	401,207 (3.6%)	38,268 (△53.2%)	2,842,942 (0.2%)

<テレマーケティング>

連結子会社の株WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営等を行っております。当第3四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、新規外部顧客からのテレマーケティング業務の受注の増加やECショップ等でのグッズ販売の増加により外部売上が増加したこと等により、65億84百万円と前年同期に比べ17億67百万円（36.7%）の増収となりましたが、成長戦略の一環として実施した横浜拠点（本社及びコンタクトセンター）移転に伴う費用等が発生したため、セグメント損失は45百万円（前年同期は1億66百万円の利益）となりました。

また、同社が運営するWOWOWカスタマーセンターが、コールセンターにおける優れた取り組みを評価・表彰する「コンタクトセンター・アワード2016」にて、最優秀テクノロジー部門賞を受賞しました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は774億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ139億53百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

負債は281億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ93億89百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は492億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億64百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ6.8ポイント減少し、63.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28(2016)年5月13日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第3四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成28年3月期決算短信(平成28年5月13日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR資料室))

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/01.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,215	22,705
売掛金	4,426	4,539
商品及び製品	78	195
番組勘定	14,320	23,190
貯蔵品	60	54
繰延税金資産	1,112	981
その他	1,225	2,306
貸倒引当金	△123	△111
流動資産合計	39,315	53,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,472	2,460
機械及び装置（純額）	4,478	3,741
工具、器具及び備品（純額）	1,163	1,041
その他（純額）	51	5
有形固定資産合計	8,164	7,249
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	2,218	2,125
無形固定資産合計	7,229	7,137
投資その他の資産		
投資有価証券	7,371	7,760
繰延税金資産	539	370
その他	854	1,049
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	8,742	9,158
固定資産合計	24,137	23,544
資産合計	63,452	77,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,521	21,156
未払法人税等	1,485	1,085
賞与引当金	67	36
その他	4,958	4,149
流動負債合計	17,032	26,428
固定負債		
退職給付に係る負債	1,620	1,624
その他	153	142
固定負債合計	1,773	1,767
負債合計	18,806	28,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	39,629	43,788
自己株式	△3,081	△3,081
株主資本合計	44,287	48,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	508	662
繰延ヘッジ損益	△149	102
その他の包括利益累計額合計	359	764
純資産合計	44,646	49,210
負債純資産合計	63,452	77,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	56,041	58,459
売上原価	29,873	30,759
売上総利益	26,167	27,699
販売費及び一般管理費	19,051	18,841
営業利益	7,116	8,858
営業外収益		
受取利息	4	6
為替差益	49	—
持分法による投資利益	184	229
その他	68	65
営業外収益合計	307	301
営業外費用		
為替差損	—	430
その他	5	0
営業外費用合計	5	430
経常利益	7,419	8,728
特別損失		
固定資産除却損	15	24
ゴルフ会員権評価損	8	—
特別損失合計	23	24
税金等調整前四半期純利益	7,395	8,704
法人税、住民税及び事業税	2,242	2,530
法人税等調整額	198	125
法人税等合計	2,440	2,655
四半期純利益	4,955	6,048
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,955	6,048

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,955	6,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	153
繰延ヘッジ損益	△284	221
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	29
その他の包括利益合計	△242	405
四半期包括利益	4,712	6,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,712	6,453

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,589	3,869	58,459	—	58,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	2,714	2,719	△2,719	—
計	54,593	6,584	61,178	△2,719	58,459
セグメント利益又は損失(△)	8,903	△45	8,858	—	8,858

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第3四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	54,589	100.9
テレマーケティング	3,869	198.9
合計	58,459	104.3

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入52,384百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	54,197	0.9	8,736	35.0	8,600	25.6	5,928	29.3
28年3月期第3四半期	53,704	4.0	6,473	△20.4	6,845	△19.7	4,584	△16.6

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期第3四半期	71,195	43,621		
28年3月期	57,220	39,205		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成29年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
29年3月期	72,900	1.1	9,100	1.8	6,300	△0.8	233.41

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。